

## 第13回仙台城跡保存活用計画等検討委員会

- I. 開催日時 令和2年10月28日(水) 18時00分～20時00分
- II. 開催場所 仙台市役所上杉分庁舎12階 教育局第1会議室
- III. 出席者 (委員) 北野 博司・菊池 慶子・稲葉 雅子・小齋 憲博・  
今野 薫・庄司 弘美・馬場 たまき・藤澤 敦・  
山田 淳  
(宮城県) 関口重樹(教育庁文化財課 技術主幹)  
(事務局) **【教育局】**  
生涯学習部長 筒井 幸子  
文化財課長 長島 栄一  
仙台城史跡調査室長 鈴木 隆  
主任 齋藤 俊義  
主任 加藤 智仁  
主事 須貝 慎吾  
主事 佐藤 恒介  
**【文化観光局】**  
観光課賑わい創出係長 三浦 貴之  
**【建設局】**  
公園整備担当課長 鈴木 江美子  
  
(報道機関) (無し)
- IV. 傍聴人 1名

※会議録の署名について委員長は庄司委員を指名

## V. 概要及び議事内容等

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) 前回（第12回）委員会における意見などについて

資料2に基づき事務局より説明。

意見無し。

#### (2) 史跡仙台城跡整備基本計画 中間案（素案）について

資料1に基づき、仙台城跡周辺交通量調査の結果を事務局より説明。

稲葉委員： 調査結果に基づいて、今後の市道取り扱い方針は提示できないか。

筒井部長： 交差点改良や市民の理解等の課題はあるが、調査の数値のみから見れば代替道路の新設は不要であり仙台城跡線の通行規制は可能である。これらの認識の下、整備基本計画での事業計画を示している。

菊池委員： 資料1の2-(4)にある5点のメリットの内、特にメリットと考えるものはどれか。

また、登城路の急傾斜で安全を確保するには、車両通行規制だけでなく、更に整備が必要な点が多くある。

事務局： 特にメリットと考えるのは「史跡の適切な保存」で。車両通行止めは遺構保存の大きなメリットである。

安全確保は、市道の車両通行を止めることで安全な歩行者用通路を確保したいという意味で記載している。

菊池委員： 通行止めは、一時的もしくは恒常的か。

事務局： 恒常的な通行止めとなる。

山田委員： 本丸まで車で行くには、資料1の青のルートを使うことになるか。

事務局： そこが主たる迂回路となる。

山田委員： 議論を進め、課題を解決しながら、史跡のあるべき姿や市民にとって一番良い形を計画に盛り込んでほしい。

事務局： 整備後の姿を明示した整備計画により、市民の理解を得たうえで整備をすすめたい。

委員長： 交通量調査の成果はどのように公開・活用するのか。

事務局： 本委員会資料はホームページで公開する。

馬場委員： 地下鉄東西線や都市計画道路の影響により交通量が減少している等、仙台城跡の保存と活用を考える条件が変わった認識を整備基本計画に掲載する必要がある。

資料 3、4、5 に基づき、中間案について事務局より説明。

藤澤委員： 資料 4 で提示された次期事業計画の期間が保存活用計画・整備基本計画の終了時期から 2 年多いが良いのか。

事務局： 修正する。

藤澤委員： 資料 4 で「内容については計画の策定までに変更になる可能性があり」とあるが、ここでいう「計画」とは整備基本計画もしくは事業計画か。

事務局： ここではその双方をさしている。前期の事業について不明な部分もあり、現時点ではそのように記述をしている。

藤澤委員： 大手門復元について、条件次第で前後する可能性もあるというような余裕を持たせた期間設定が良い。

事務局： 大手門復元は、地形測量や発掘調査等の調査を行ってからになるため、提示した基本計画の前倒しは難しい。

また、令和 5 年開催予定の全国都市緑化フェアまでに植生を修景し、政宗ビューを体感してもらいたい。

藤澤委員： 大手門と直接的な関わりのない発掘調査は、調査ポイントを絞る等の方法を検討してはどうか。また、大手門装飾金具の調査や検討委員会立ち上げ等は早期に実施し、大手門復元を早める努力をしてほしい。

委員長： 大手門復元に向けた検討委員会を 10 年以内に立ち上げ、考古学的・建築的調査や文化庁への復元申請を計画に組み込むべきである。

事務局： 発掘調査は対象によって進度を変えていく。

菊池委員： 大手門発掘調査の際通行止めはするか。

事務局： 大手門直下の発掘調査の際は通行止めを想定している。

菊池委員： 資料 4 の 3 ページ目にある、「地域的価値」とは何か。

事務局： 仙台城の「近代以降も地域にとって大事な場所で有り続けたこと」を地域的価値としている。

菊池委員： 地域的価値は歴史的価値に含まれるので、ここでは自然環境的価値を提示すべき。保存活用計画で提示された本質的価値には自然環境について書かれているため、自然環境の保全や活用の重要性を更に記載すべき。

事務局： 歴史-文化-自然、という三つ巴の価値という形で十分考慮したい。

委員長： 本質的価値の「3つの整理」と「5つの本質的価値」は混乱する。本質的価値を捉える視点・指標というニュアンスではどうか。

菊池委員： 具体的な方向性を示すため、多方面との調整も事業計画に含むべき。例えば、資料 4 の 6 ページに記載のあるイベント等だけではなく、事業

計画全体で調整や情報公開を行うと書くべき。

事務局： 調整について記載を検討する。

菊池委員： 資料3で景観について「史跡内の様々な要素」とあるが植生以外の何を想定しているか。

事務局： 資料5の69ページで示した休憩施設、照明施設、案内・解説施設などの構造物、遺構・地形も含まれる。

菊池委員： 「修景（除草）」という表記には違和感がある。また、修景（植生）については、いつの仙台城を基準とするかによって植生の在り方が違うため、基準を定め慎重に進める必要がある。

事務局： 「修景（除草）」という表現は再検討する。

藤澤委員： 修景（植生）については、資料5の65ページにある「城郭らしい景観」の具体的なイメージを持つ必要がある。また、全国都市緑化フェアに向けた修景（植生）は調査・検討の時間が短いため抑制的に進めた方が安全である。

事務局： 山城としての形態が見えるようにするべきと考えている。本丸跡から市街地が見え、市街地から本丸跡の平場ラインが見えるように城郭と植生のバランスが取れた政宗ビューの整備を想定している。

委員長： 修景は何を重視するかによって内容が変わってくる。現段階では城郭らしい姿の具体的なイメージを記載しない計画とするしかない。

植生調査だけではなく流量調査等の史跡への影響調査も実施する必要がある。

事務局： ご指摘を踏まえ、各種調査を含めた植生計画を作りたい。「城郭らしさ」についてもコンセンサスをとっていきたい。

小齋委員： 資料5の92ページの記載ではイベントを行う時だけ、公開・活用を行うかのようなため、誤解されない表現としてもらいたい。

事務局： 仙台城跡に関わるイベントとしては、全国都市緑化フェア以外に石垣清掃や調査区の公開を考えている。

小齋委員： イベントが無い時はどうするのか。

事務局： イベントがない時も公開・活用を進める予定である。そういった趣旨が読み取れない文章であったため修正する。

委員長： 要約版については、ハード整備の要約で、公開・活用に関する計画の新しさが見えない。

小齋委員： 事業計画により整備等が着々と進んでいく様子が感じられ嬉しく思う。一方で、青葉山公園（仮称）公園センターは史跡入り口で多くの市民団体の活動拠点になるため、なるべく早く完成すればと思う。

今野委員： パブリックコメントの公開資料は、概要版と本編か。

事務局： 概要版は要約版より簡略に4ページ程で作り直す。本編はご意見を踏まえて修正したものを公開する。

今野委員： 24～26 ページの交通機関に関する図について、東京から仙台空港にくるとなっているが良いか。

事務局： 成田から仙台に向かう航路である。

今野委員： 基本的に国内海外から東京経由と考えられるが、羽田・成田など記載すると良い。

庄司委員： これから実施されるパブリックコメントでの意見が楽しみである。

馬場委員： パースによって整備後のイメージができた。概要版にもイラストやCGを載せることで市民にもわかりやすいと思う。

事務局： パースは現在修正版を作成中である。事業計画の後段に掲載する。

馬場委員： パース内に公園センターや大橋が描かれているとわかりやすい。他部局との連携も示せる。

事務局： 本編でお気づきの点があれば11月4日までに事務局へご連絡いただくようお願いしたい。

### (3) その他

鈴木室長： 今回の委員会と4日までのご意見にて中間案としてまとめ、来月に議会へ報告し、11月末から12月末までパブリックコメントを行う。次回、第14回委員会については、1月末の開催予定である。内容は、パブリックコメントの結果の報告、それを踏まえた計画案の提示となる。日程については、改めて、ご連絡・調整させていただく。

関口主幹： 今回はイメージの共有ということで課題が明らかになったかと思う。まだ未確定だが、12月には文化庁とこの整備基本計画の協議をしたいと考えている。パブリックコメント中ではあるが、内容について、イメージの共有にポイントをおき、協議していきたい。また1月の委員会で成果を報告したい。

## 3 閉会

長島課長： それでは、以上を持ち第13回仙台城跡保存活用計画等検討委員会を閉会とする。

(2:06:30)